

3月4日

豪州の小学生と  
オンラインで交流授業

市政



稲瀬小学校3年生とオーストラリアの小学生がオンライン形式による交流授業を行いました。姉妹都市などへの海外派遣研修が本年度中止となったため、代替的に実施されたものです。児童は、手書きのイラストを用いたクイズや、お互いの国や学校に関する質問を英語で交わし交流を楽しみました。

3月8日

千葉ミチさん 100歳  
(水沢字大町)

百寿



水沢羽田町で5人きょうだいの長女として生まれ、20歳で故・幸治さんと結婚。2男1女をもうけ、孫7人、ひ孫7人に恵まれています。長生きの秘訣はよく歩き、好物のミカンをたくさん食べること。ミチさんは「百歳まで生きて自分でもびっくり。うれしい」と笑顔で祝福に応えました。

3月12日

研修を通じ相互理解

市政



市は、地区振興会などとの協働の推進に中心的な役割を担う職員である「協働のまちづくり推進員」の研修会を開催しました。テーマは「行政と地区振興会との関係の見直し」。各種委員の推薦など、市から地域へ依頼していることを地区振興会の役職員と話し合い、お互いの関係性を考える貴重な場となりました。

3月13日

こども食堂で  
楽しいひととき

イベント



子どもと保護者が食事などを楽しむ「子どもひろば」(食を育む会主催)が江刺愛宕地区センターで初めて開かれました。市の補助金のほか、地元からの寄付や食材の提供により開催されたものです。会員が調理した地元食材たっぷりのカレーやサラダなどが出されると、子どもたちはおいしそうに頬張っていました。

3月14日

一打一打に感謝の気持ちを  
込めて

イベント



日本太鼓財団と東北太鼓連合による東日本大震災復興10年イベント「東北太鼓感謝祭」が胆沢文化創造センターで開催されました。市内の姉妹太鼓「鳴鼓会」と奥州水沢颯人和太鼓乃会を含む、岩手、宮城、福島県の11団体が共演。震災復興の感謝と新型コロナの早期収束を願い、勇壮な演奏を繰り広げました。

3月15日

及川ケサミさん 100歳  
(水沢姉体町)

百寿



胆沢小山で5人きょうだいの長女として生まれ、20歳で故・浅治さんと結婚。1男3女をもうけ、孫5人、ひ孫1人に恵まれています。話し好きでムードメーカーだというケサミさん。お誕生会では「皆さんの愛で長生きすることができた。どうもありがとうございます」と笑顔で感謝しました。

3月20日

石川倉之助さん 100歳  
(水沢上姉体二丁目)

百寿



金ヶ崎町で3人きょうだいの長男として生まれ、21歳で故・キミさんと結婚。娘2人、孫4人、ひ孫3人に恵まれています。新聞を読むのが日課で、マイペースに日々を過ごされています。お祝いに集まった家族や施設職員に向けて「皆さんのおかげで百歳を迎えることができた」と感謝を述べました。

3月20日

衣里に根差して64年  
歴史に幕

イベント



市立衣里幼稚園の閉園式が同園で行われました。同園は園児数の減少から2年度は休園しており、同年度末で閉園となりました。久光富美園長は「これからも衣里の子どもたちが健やかに成長することを願っている」とあいさつ。園旗が返納され、地域に根差した幼稚園の64年の歴史に幕を閉じました。

3月22日

地元から世界へ発信  
大谷選手にエール

イベント



市や関係団体で設立された「大谷翔平選手ふるさと応援団」は、来年度の活動に向け総会を開きました。これまでの活動の振り返りや、市民から応援アイデアを募集する提案などを協議。米大リーグ4年目を迎え、世界で活躍する大谷選手を地元から応援し盛り上げようと、あらためて心一つにしました。

3月23日

高橋菊美さん 100歳  
(江刺稲瀬)

百歳



江刺愛宕で6人きょうだいの3番目として生まれました。故・貞さんと結婚し、1男1女をもうけ、孫4人、ひ孫2人に恵まれています。きょうだいも長生きで、菊美さんの長生きの秘訣は、畑仕事。歯が丈夫で「8020」を達成し、表彰されています。贈呈式では「おめでとう」の声に笑顔で応えていました。

3月23日

災害に備え  
飲料確保の協定結ぶ

市政



市は、(株)ミチノク(上野昭則代表取締役社長)と「災害時における飲料の確保に関する協定」を締結しました。災害発生時、避難者への救援物資として飲料を提供するもので、市民が安心して暮らせる体制を整えました。上野社長は「市の発展のために対策を取り、さまざまな事に協力していきたい」と語りました。

3月27日

地域に愛された保育所  
64年の歴史に幕

イベント



米里保育所閉所式が同所で行われました。旧江刺町時代最初の認可保育所として昭和32年に開設した同所。佐藤八千代所長は「地域と共にある保育所を目指してきた。保護者や地域の皆さんに感謝をしたい」と話しました。式終了後、参加者たちは感謝の思いを込めた風船を園庭から飛ばし、別れを惜しみました。